

2024.4.15

Design News.**International Bathroom Exhibition / 国際バスルーム見本市 出展社情報**

第 10 回国際バスルーム見本市は、新しい美的およびデザインランゲージ、自然、責任、革新的な素材、およびウェルビーイングについて語りかけます。

バスルームは長い道のりを経てきました—機能的に不可欠な空間であり、美的で重要な空間です。この場所は新たな役割を得て、新しい価値を受け入れ、その境界を越えてきました。これまでのバスルームの常識を抜け、再設計を経て、バスルームは家庭の中の他の居室や環境と一貫したデザインランゲージを持つようになりました。バスルームは役割を昇華させて、ウェルネス(健康)と活力を取り戻すエリアに変わったのです。一度は乗り越えられないと考えられていた物理的な境界さえも消し去られました。浴槽はその限界を超え、最も広い意味での「生活」のための家具が現れ、収納スペースを拡大し、空間の間取りとなりました。

バスルーム国際見本市に並ぶ新製品は、この進化如実に反映しています。セルフケアの場であり、ますますタイニーになり(場所によっては違うかもしれませんが)家族が平等に使えるホームスパとなったバスルームは、水を使った生活習慣や行動と私たちを、マインドフルネスという状態につながる合わせる場所です。とはいえ感情的および美的な要素だけでは、ユーザーを説得できないのがバスルームです。ブランドの価値を決定するのは、エコデザインと持続可能性の原則にブランドが沿っているかも重要です。原料の調達(特に革新的なもの)から製造、最終製品、廃棄プロセスまで、バスルーム関連の企業は、環境への影響を最小限に抑える製品を得るために、研究と革新に投資してきました。節水、製造サイクル、および素材について深く考えるようになりました。この業界は美学、機能、品質を損なうことなく、私たちの住む地球を尊重する方法を知っています。

【環境問題の基本に戻る】

テクノロジーとデジタルが私たちの生活のあらゆるコーナーに採用される時代に、バスルーム産業は責任ある製造のための革新的なソリューションを採用し、未来に前向きな見方をするだけでなく、デザインの原点に立ち返り、形と機能について考え、製品開発の時点から、より持続可能なプロジェクトを促進し、本物の「ウェルネス体験」を損なうことなく、節水と省エネルギーの両立を目指します。

•Laufen(ラウフェン)「MEDA(メダ)」 ホール 10 | スタンド B21 C16

ラウフェンの取り組みは、より持続可能で総合的な未来に向けられており、革新的な素材の開発や、注意深い生産、そして品質と美的価値を高めるよう長寿命に設計されています。バスルーム展では、Peter Wirz(ペーター・ヴィッツ)と共同で制作された新しい MEDA(メダ)コレクションを発表します。ピュアで非常に機能的で、ベーシックながら柔らかくジオメトリカルなデザインで、トータルバスルームのニーズを満たします。バスルームは、私たちを取り巻く世界の騒がしさからエスケープする、心穏やかになれる場所でなければなりません。

製品の中には壁掛け式トイレもあり、静かな水流でトイレを流す革新的な技術を採用しています。水の流れが内部タンクを通過して強力かつ静かに行われ、水の消費量が削減されます。正確に水が流れることで、水流のノイズを軽減し、厳しい防音基準も満たします。

•SDR(エスディーアール)「Pilo(ピロ)」 ホール 10 | スタンド B04

リサイクルシステムの水や再利用セラミック、そして生産に適さなくなった石膏の型を再利用しています。同社は陶製衛生設備(トイレ、洗面ボウルなど)の焼成に CO2 低排出の炉を使用し、メタンガスの消費を低減し、発電パネルを通じて 350 kW のクリーンエネルギーを生産しています。ミラノでは同社の初のバニティユニット(洗面台+家具)である「Pilò(ピロ)」を発表します。パウダーコーティングされたステンレス鋼構造とセラミック製の洗面器から構成され、オブジェクト、棚、カウンター、スマートフォン置き場、ソープディッシュ、タオルホルダーなどを備えたエッセンシャルでモダンなデザインを特徴としています。

•Victoria + Albert (ヴィクトリア+アルバート)「Ledro(レードロ)」 ホール 06 | スタンド B30 B32

ユーザーエクスペリエンスとバスルームのエルゴノミクスを考慮して設計されたバスタブ「Ledro(レードロ)」を発表します。デザインや心地よいウェルネス体験を保ったまま、節水を実現するコンセプトプロジェクトです。彫刻的なデザインでありながら、180 リットルの最大容量(通常、バスタブは 200/250 リットルが必要)であっても、肩と膝のリラックスに十分なスペースを確保し、「QUARRYCAST™(クォーリーカスト)」という天然由来の素材で作られています。火山性石灰岩「Limestone™(ライムストーン)」と高性能樹脂をブレンドした独特の素材で構成されており、無限の耐久性を提供しています。

•Antrax IT(アントラックス アイティ)「Lana(ラナ)」ホール 06 | A31

モジュラーラジエーター「Lana(ラナ)」は、Michele De Lucchi(ミケーレ・デ・ルッキ)率いる AMDL Circle によってデザインされました。これは、100%リサイクル可能なアルミニウムで鋳造された正方形のタイルで作られています。丸みを帯びた角と表面のプリーツ加工により、ユーザーが望む心地よい温もりを実現し、熱効率とエネルギー効率を最大限に引き出します。ラジエーターの基盤のプリーツパターンは、熱放射能力を高めるためにデザインされています。機能とデコラティブな価値を共に備え、電気と水の高い熱性能を達成し、非常に少量の水で作動します。

【自然は教えてくれる】

環境は守るだけでなく、私たちにインスピレーションを与えるものです。実際、自然そのものが巧みなデザイナーであり、生存し、適応し、進化するためにデザインされています。デザイナーたちは自らを囲む生態系に導かれ、影響を受けています。

•Ceramica Cielo(チェラミカ チエロ)「Itaca(イタカ)」 ホール 10 | スタンド A18

Itaca(イタカ)コレクションは Luca Cimarra(ルカ・シマラ)によってデザインされた物語です。それは島のアイデアから始まります。水に囲まれた地球、海に開かれた世界、限られた中での完全な自分自身、島はまた、ますます親密な居住空間のメタファーとなります。イタカは、帰郷と自分のルーツとの再接続の象徴であり、シンプルで原始的な形状の洗面器と衛生陶器のコレクションは、壁から離れていても、それを囲む建築にシームレスに統合され、同社特有の豊富なカラーパレットの光沢のある釉薬とマット釉薬のバリエーションを利用しています。

•Terzofoco(テルツォフォコ)「Lune(ルネ)」 ホール 06 | スタンド C33

月は、人類が常に見上げてきた宇宙の驚異のもう一つであり、その表面に手を伸ばさずにはいられないほどです。多くの地球現象、特に水流との関連はよく知られており、それらの進路と挙動に影響を与えます Lune(ルネ)コレクションは、Emanuel Gargano(エマニュエル・ガルガーノ)によって設計され、月のもたらす魔法の一片を日常生活にもたらすという願いから生まれました。繊細な

金属構造が、すべての要素が収まる穴の開いた陶器の表面を支えます。洗面器の主要な要素は、排水口を隠しながら、衛星の凸面を彷彿とさせる半球状のキャップを内部に収めています。

•**Scarabeo Ceramiche (スカラベオ・セラミケ)「Skinny (スキニー)」** ホール 06 | スタンド B31

新しい洗面器コレクション「Skinny (スキニー)」を設計するために Studio Adolini (スタジオ・アドリーニ)も自然を見つめます。その形状は、流れるような柔らかい曲線は自然素材の進化や賢明な適応を物語る岩石の、自然な研磨プロセスにインスパイアされています。洗面器の凛々しい外観とクリーンなデザインは、ミニマリストのアプローチを具現化し、オーガニックな内部形状が温かみを添えます。

•**Casalgrande Padana (カサルグランデ・パダナ)** ホール 01 | スタンド C05

「ピエトラ ティブルティナ」コレクションは、スラブストーンに固有のパターンと色調を注意深く解釈し、オリジナルの石のそれと同じものを再現する 4 つのシェードを提供します。同時に、トラヴェルティーノをイタリアの建築に使用する密度の高い古代の伝統に敬意を表しています。全体のカラーレンジは、傾斜またはカウンターフォールドで石を切ることによって与えられる異なる図形に従って 2 つのバージョンで提供されます。地球色のシェード、多様な筋、光と影の立体的な遊びは、陶板内で広がり、魅力に富んだ材料のテクスチャーを描きます。

•**Rak Ceramics (ラック・セラミックス)「RAK-BATU」** ホール 06 | A30

Rak Ceramics (ラック・セラミックス) は、独自の芸術的な釉薬を開発し、それを「RAK-BATU」という洗面器のコレクションに使用しています。雲母粒子という鉱物「マスコバイト」を使用したセラミックです。雲母は、その独特の結晶構造と光沢によって知られています。これらの微細な粒子が釉薬に混ざると、表面に美しい光沢や模様を与えます。このような特性を活かした新しい釉薬は、バリ島のような熱帯的な自然環境を想起させるデザインに適していますが、同時に現代的なミニマリズムデザインも保持しています。自然と現代性が融合した独特の美しさが生み出されます。

【新しいデザインランゲージ】

過去数ヶ月で、出展者は新しいデザインと美的な言語を探求してきました。多くのブランドが、形態に関する新しい物語を開発し、機能を見直し、再構築するだけでなく、新しい素材、アプローチ、およびインスピレーションを取り入れています。

•**Fima Carlo Frattini (フィーマ・カルロ・フラッティーニ) 「SLIDE (スライド)」** ホール 06 | スタンド A29

Davide Vercelli (ダビデ・ヴェルチェッリ) がデザインした新しい混合水栓「SLIDE (スライド)」を発表しています。核となるのは革命的な開閉モードで、従来の上げ下げのレバー動作から変化しています。傾斜した面に 2 つの円柱状部分が滑らかに動く機構で、手で触れるだけで水流を正確に調整することができます。無駄な動きのない操作感が得られるのです。プロジェクト開発の出発点は、製品と人の動きとの物理的な相互作用です。開閉モードと素材、この 2 つの要素に焦点を当てました。純粋なステンレス鋼 316 を使用して、完璧なメタルシリンダーが軽く滑らかに動き、水の流れを生み出します。

•**AXOR (アクサー) 「AXOR Citterio C (アクサーチッテリオ シー)」** ホール 06 | スタンド A41 B36

洗面水栓を再解釈し、ますます小さくなりつつあるバスルームスペースでの快適さを実現しています。精神的にはミニマリストであり、柔らかいシルエットと官能的なフォルムを持った水栓金具です。ディテールは実に個性的で、グリップとレバーハンドルはわずかな傾斜がついています。デザイナーの Antonio Citterio (アントニオ・チッテリオ) はこう説明します。「洗面水栓の新しいデザイン言語の必要性を感じました。コレクションはスリムでコンパクトである必要があり、私たちが快適さに求める柔らかさと、実際に必要な量より材料を少なく使うレスマテリアルの考え方を反映する必要性がありました。すべてのライフスタイルに適応し、特に表面の色にはこだわりました。そしてすべてのピースのデザインがつながることが最も重要でした」

•Roca(ロカ)「Nu(ヌー)」 ホール 10 | スタンド B19 C12

Studio Inma Bermúdez によって設計された新しい Nu(ヌー)シリーズの水栓コレクションは、フォルムを再構築し、バスルームとしては斬新でオリジナルな色彩を提案します。ブランドの持つ地中海のDNAに触発された6つの目を引く色 - ハニーイエロー、コバルトブルー、ミントグリーン、光沢のあるホワイト、チタンブラック、クロムに、3つの異なる開口レバーを備えたコレクションは、形と機能を融合させ、ユーザーエクスペリエンスに喜びを加え、創造性と想像力を刺激します。

•Rubinetteria Stella (ルビネッテリエ・ステラ)「Side(サイド)」 ホール 10 | スタンド B10

Meneghello Paoletti (メネゲッロ・パオレッティ) によって設計された水栓 Side(サイド)はプロジェクトの核となるノブを備えており、素材の良さと手触りの良さでレベルの高い製品に仕上げられています。2つの大きなレバー分割され、それぞれが独自の特徴を持ち、形と素材の段階から要望に応じてカスタマイズすることができます。

【個性がないと、何も実現できない】

クリエイティブな人々にとっては、時にはちょっとした変わり種や“常識外”の考え方を加えるだけで、空間と生活、日々のリズムと幸福感の期待との関係を見直すことができます。

•Kohler(コーラー)「Rista(リスタ)」 ホール 6 | スタンド A38 A40

Daniel Arsham (ダニエル・アーシャム) によってデザインされ製作された Rista(リスタ)は、ブランドが数年の研究と開発を経て生み出した、ユニークな3Dプリントプロセスを使用しています。各シンクは7時間以上かけて出力され、手作業で仕上げられます。さらに厳格な品質基準を満たしています。洗面ボウルといえども、リミテッドな真の芸術作品です。

•Arbi Arredobagno(アルビ・アレドバーニョ) Master(マスター) ホール 06 | スタンド A43 B38

可動式のモノブロックフォルムと、大胆な色彩のとの対比が特徴です。家具のシャープなラインと、空間の要素に動きを加えるオープンシェルフは、56種類の色調で輝きます。扉材に薄い溝を掘る新しい加工技術である「Bricks(ブリックス)」は、影と視覚的効果を加え、深みを与えます。

•Ideagroup(アイデアグループ)「Wall(ウォール)」 ホール 06 | スタンド A34 B36)

壁用ボイセリー(壁面を飾る装飾的なパネルまたは壁板)の「Wall(ウォール)」も自由な解釈でデザイナーの創造力を刺激します。当初は洗面台まわりのセルフケア用品を収納したり、ユーティリティ(家事スペース)を隠す解決策として考案されましたが、現在は通路、玄関、廊下にまで使えるパーティションや収納となり、リビングエリアや寝室まで用途が広がっています。小物、書籍を納め、ベッド周りやくつろぐための空間の行動をサポートします。

•Ritmonio(リトモニオ)「Diametro35 Impronte(ディアメトロ 35 インプロンテ)」ホール 10 | スタンド C08

ウェルネススペースの絶対的な主役となる混合水栓「Diametro35 Impronte(ディアメトロ35インプロンテ)」。水量を調整するパーツの素材と触り心地は新しい次元に入っています。レバーに4種類の3次元のテクスチャが再現され、カスタマイズも可能です。バスルーム空間でそれぞれ強い個性を表現し、各プロジェクトをユニークではっきりと識別できるものにします。

•Carimali(カリマーリ)「Match(マッチ)」ホール 10 | A11

壁掛けのシャワーヘッドの新しいコレクション Match(マッチ)は、オリジナルのカラーコントラストや素材でカスタマイズできます。決まった選択肢から想像力を生かせる、心地よいバランスを保っています。どんなスタイルの家具とも完璧に調和し、洗練された建築空間を実現します。

•Graff(グラフ)「Incanto Arté(インカント・アルテ)」ホール 10 | スタンド A06

このブランドは、より芸術的な詳細を施してラインを刷新し、入り組んだ輝くニールリングパターンや磨かれたゴールド、ブラシピンク、ローズ、ニッケル、磨かれたクロームなどの貴金属仕上げを強調しています。高品質の材料、精密なエンジニアリング、革新的なデザインで作られた彼らは、バスルームでの実験の表現です。

【シンプルが(依然として)一番】

バスルームが華やかさを増す一方で、控えめでアクティブすぎないインテリアデザインも根強く残っています。色使いに注意が払われ、自然素材を利用し、厳密なルールに基づいて配置されたシンプルな形状の家具に見られるようなバランスと秩序に焦点を当てた哲学でもあります。

•Caleido Infinito(カレイド・インフィニート) ホール 10 | スタンド B25

Caleido Infinito(カレイド・インフィニート)は、オブジェの様に溶け込む、モジュラー式の空調システムです。エレガントなミニマル建築プロジェクトでは、効率的な機能を保ちながら、水平な平行バーが完璧な曲線で壁に入りこみ、地面から天井まで続く垂直のパーツが暖気を導きます。空間に合わせて姿を変える魅力は、柔らかいU字型が床から浮かび上がったり、天井から垂れ下がったり、壁ではデザイン、ライン、彫刻になります。モジュールとフレキシビリティを中心としたシステムです。バー、曲線、T字などのフォルムで利用可能であり、新しい方法でインテリアと相互に調和し、清潔で軽快なライン、繊細なプロポーションで日常空間を再定義します。

•Treesome(トレエッセ)「Soul SPA(ソウルSPA)」ホール 10 | スタンド D11

Soul SPA(ソウルSPA)は、Marc Sadler(マーク・サドラー)によってデザインされた新しいミニプールで、現代的なデザインと機能性を融合させています。Ghost system®がノズルを薄い周辺スロットの中に隠します。プールを照らす多彩な色のLEDライティングも内蔵し、どんな環境にも適応します。リラクゼーションのためのジェットマッサージとカラーセラピー(色彩心理学)との組み合わせによって、Soul SPAはリラクゼーションの概念を新しく変えました。浴槽からの眺めの心理的な効果が、SPAを多目的なハイドロセラピー(水の特性を利用した療法や治療法)というソリューションに変えます。

本件についてのお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it